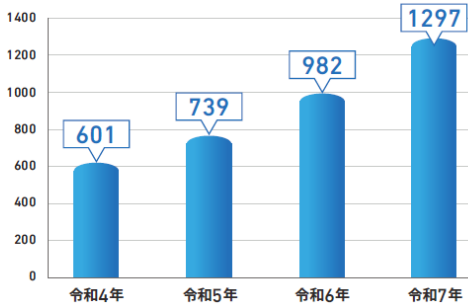


リチウムイオン電池の火災に注意！

近年、モバイルバッテリーや携帯用扇風機などに使用される**リチウムイオン電池**が原因となる火災が全国で増加しています。



リチウムイオン電池等から出火した火災件数※の推移(年別)



廃棄されたリチウムイオン電池等を回収中の塵芥車及びごみ処理関連施設から出火した火災件数を除く。

※ 全国で増加しています

製品別の出火件数

(リチウムイオン電池等による火災 R7.1～12月)

モバイルバッテリー	482件
携帯電話機	93件
電動工具	86件
ポータブル電源	51件
電動アシスト自転車	51件

※ モバイルバッテリーによる火災が多く発生しています

【火災を防ぐポイント】

- ✳ 衝撃を与えない
- 🔥 高温になる場所に放置しない
- 🔋 膨らんだ電池は使用しない
- ♻️ 処分する際は、地域のルールに従う



【消防庁の情報はこちら】

「リチウムイオン電池総合対策ポータルサイト」



URL

<https://www.fdma.go.jp/relocation/lithium-ion/>


「ゆるサイと 火災・防災 再かくにん」



動画で、火災・防災についてわかりやすく学べます

<消防庁ホームページ URL>

https://www.fdma.go.jp/relocation/html/life/yobou_contents/materials/


【消防からのお願い】

リチウムイオン電池は便利な製品ですが、誤った使用や処分方法により火災につながる危険があります。正しい取扱いと適切な処分を心掛けましょう。

青森地域広域事務組合

消防本部(長島二丁目)

□庶務課 017-775-0852
□予防課 017-775-0853
□警防課 017-775-0854
□通信指令課 017-775-0851

消防署

□中央消防署(長島二丁目)017-775-0855
□東消防署(栄町一丁目)017-741-0613
□浪岡消防署(浪岡字稲村)0172-62-3119
□平内消防署(平内町沼館)017-755-3119

青森消防
ホームページ青森消防
【公式】X



夏の火災予防

火遊び・花火・お盆の火災を防ぎましょう

夏休みやお盆は、花火やお墓参りなどで火を使う機会が多くなります。火の取扱いに十分注意しましょう。

【火遊びによる火災の防止】

- 子供だけを残して外出しない
- ライターやマッチを子供の手の届く所に置かない
- 子供だけで火を取り扱わせない
- 火災の恐ろしさ・火の取扱いについて教育する



【花火を安全に楽しむポイント】

- 風の強いときは、花火をしない
- 燃えやすいものがない安全な場所を選ぶ
- 子供だけでなく大人と一緒に遊ぶ
- 水バケツを準備し、後始末をする

花火は「SFマーク」が目印



SFマーク (Safety Fireworks)
(公社)日本煙火協会発行

花火を安全に楽しむため、各種検査をクリアしたSFマーク付きの花火を使用しましょう。

【お盆期間の火災予防対策】

- ろうそくや線香の火をつけたまま、その場を離れない
- 燃えやすいものを近くに置かない
- 電気式の仏具は、配線や器具を点検する
- 風が強いときは、火気の使用を控える
- 万が一に備え、水を準備しておく



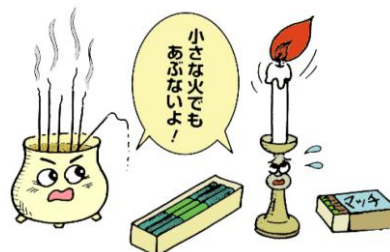
△ 着衣着火に注意！

着衣着火とは、ガスコンロや仏壇のろうそくなどの火が衣服に燃え移ることです。

衣服によっては火が一気に燃え広がり、大やけどや命にかかわる事故につながることもあります。

△ 小さな火でも油断は禁物！

ろうそくや線香は、小さな火ですが、紙や布類、枯草などの燃えやすいものが近くにあると、取扱いの不注意により大きな火災につながるおそれがあります。



9月1日は「防災の日」

日ごろの備えを再確認しましょう

- ✓ 家族との連絡方法や安否確認の方法を確認する
災害時の連絡方法や集合場所を決めておきましょう。
- ✓ 避難場所・避難経路を確認する
自宅や職場周辺の避難場所や安全な避難経路を確認しましょう。
- ✓ 非常持出品・備蓄品を確認する
水や食料、懐中電灯などを点検し、不足しているものは補充しましょう。
- ✓ 家具の転倒防止を確認する
家具を固定し、寝室や避難経路の安全を確保しましょう。



災害はいつ起こるかわかりません。

この機会に、日頃の備えを見直しましょう。

イベント情報

消防ふれあい広場 開催

令和8年9月12日（土） 11:00～15:00

サンロード青森 東第1駐車場

※雨天時は、アムゼ2階特設会場



幼年消防クラブ員による
オープニングセレモニー

展示体験コーナー



はしご車搭乗体験



13:00～
25組 限定
(抽選)

さまざまな消防体験や、消防車両・資器材の展示を行います。
ぜひご来場ください。

(お問い合わせ：消防本部予防課 017-775-0853)

後援 青森地域防災協会
青森地域広域事務組合 幼少年女性防火委員会
協力 協同組合サンロード青森
青森市消防設備同業協会
青森市青森消防団
主催 青森地域広域事務組合消防本部

※ 雨天や災害発生等により中止
となる場合があります
青森消防本部公式Xでチェックし
てください！



青森消防公式X



9月9日は「救急の日」

令和8年9月6日(日)～12日(土)は「救急医療週間」

救急医療や救急業務への理解を深めていただくための様々な啓発活動が行われます。

救える命を守るために

大切な命を守るため、応急手当やAEDの使い方を知り、救急車の適正利用について考えてみましょう。

【応急手当で命をつなぐ】

救急車が到着するまでの応急手当は、救命率を高める大切な行動です。胸骨圧迫やAEDの使い方を知っておきましょう。

当消防本部では救命講習を実施しています。ぜひご参加ください。

お申込みについては、当消防本部ホームページをご確認ください。



応急手当は、誰でも行うことができます。

お問い合わせは、
青森消防本部 警防課 017-775-0854

救命講習ホームページ



【救急車を呼ぶべきか迷ったら…】



「こんな時に救急車を呼んでもいいのかな？」と迷われた際は、
『**#7119** あおもり救急電話相談』※

※(ダイヤル回線、IP電話からは 017-718-0289)

急な病気やけがで病院に行くべきか、救急車を呼ぶべきか迷った時に、看護師等の専門家が24時間体制でアドバイスをしてくれます。

夜間・休日の当番医などのお問い合わせは、

『青森消防 病院紹介 017-722-2211』

緊急時は迷わず、119番へ

【救急車の適正利用にご協力ください】

救急車は、**緊急に治療が必要な方のための大切な医療資源**です。

令和7年の青森消防本部管内の救急出動件数は13,968件で、年々増加傾向にあります。

皆様のご理解とご協力をお願いします。

